レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年10月2日	使用開始日				
登録診療科	耳鼻咽喉科	申請医師	宮口真一	化学療法委員会承認年月	平成 30 年 10 月	
レジメン名	アービタックス+Radiation（頭頸部がん）【2コース目以降】					
疾患名	頭頸部がん	適応の備考	アービタックス2コース目以後の計画登録には、これを用いる。day1から放射線療法を併用する。			
適応分類	進行再発		アービタックス初回使用の患者の登録には、アービタックス＋Radiation（頭頸部がん）【初回】を用いる。			
1コース日数	7 日間	総コース数	有効な限り コース	催吐性リスク	最小度	
抗がん剤投与量・投与日	アービタックス250mg/㎡ day1					

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 （ 投 与 日 は ● ）　（day）

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬 剤 名	投 与 量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	15 分	●						
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●						
		ポララミン注5mg	1 本 / body		●						
	デキサート注は、3.3mgでも可										
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●						
	点滴静注	アービタックス	250 mg / ㎡	1 時間	●						
			/								
3	主ルート		/								
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●						
			/								
4			/								
			/								
			/								
5			/								
			/								
			/								
6			/								
			/								
			/								
7			/								
			/								
			/								
8			/								
			/								
			/								
9			/								
			/								
			/								
10			/								
			/								
			/								

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

アービタックス：希釈は生食のみ。総液量を250mLに調製。
アービタックス：前投薬として,アービタックス投与前に、ポララミン注、デキサート注投与が必要。
アービタックス：投与終了後は、infusion reactionを観察するため、1時間の観察時間が必要であり、単独投与の場合は初回アービタックス投与後生食100mLを1時間かけて滴下する。
アービタックス：初回投与時は、400mg/㎡を2時間かけて投与、2回目以降は250mg/㎡を1時間かけて投与すること。
アービタックス2コース目以後の計画登録には、これを用いる。
アービタックス初回使用の患者の登録には、アービタックス+Radiation（頭頸部がん）【初回】を用いる。
day1から放射線療法を併用する。